

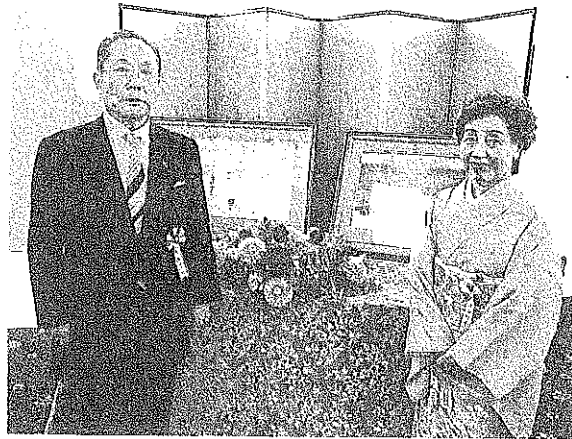
大阪発 げんまき発信 水曜プラザ

今後とも矯正活動尽力

大西さんの褒章受章祝う

「天皇の一言ひとこと、頭垂れ」社会のために「お言葉賜」。守口門真珠算協会長で、浪速少年院篤志面接委員協議会長の大西信二さん(76)が多年にわたる矯正教育の功績により藍綬褒章を受章した。

大西さんは立命館大3年のとき、珠算塾を始め、大学卒業後、商業高校教諭として23年間勤務。その間、担任していた生徒が傷害事件を起こし、同少年院



大西さん(左)と、褒章を授けられた大西さん(右)の授子さんとともに「人生を振り返るよい機会を与えていただきました。感謝しております」と話す大西さん

院長
少年院
協会
速接
浪面

ボランティアとして少年らに15年間珠算指導を行った。1988年6月から同少年院の篤志面接委員。96年7月には篤志面接委員協議会研究大会で「少年院での珠算指導」の研究発表を行うなど、通算44年間の活動が評価された。

徹院長、平井治守口門真商工会議所会頭、金沢勇大商学園理事長、森友建日本珠算連盟元理事長らが出席し、受章を祝った。

大西さんは「珠算教育への評価であり、受章は私一人のものでない。珠算の仲間をはじめ先輩、後輩の珠算教育の関係者のご指導とご支援のたまもの。今後も微力ながら、珠算教育を通して少年たちの矯正活動に努めたい」と話している。

(大山勝男)

来月若年認知症 テーマにシンポ

守口の福祉施設

松下介護老人保健施設「とびあほ」2017年1月22日、守口市外島町5丁目の松下記念病院敷地内の同施設